

いはら陽輔

活動レポート「今こそ始める和光の未来づくり」



平成26年和光市議会9月定例会報告

8月28日(木)～9月19日(金)の期間で9月定例会が行われました。9月定例会では平成25年度の決算審査を行いました。決算の概要については以下の通りです。

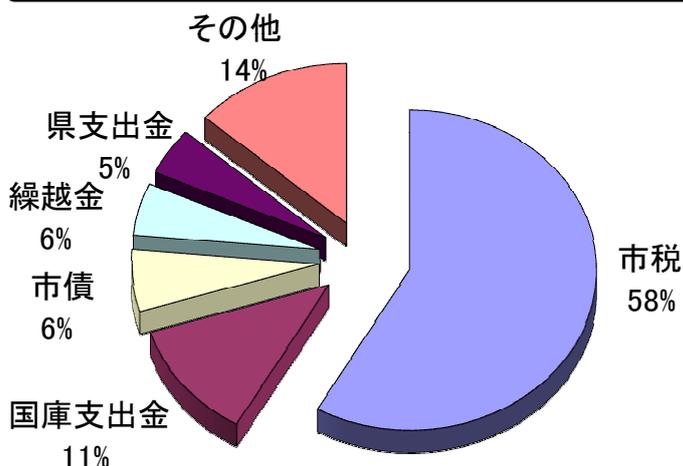
予算額と決算額の比較(単位：円)※千円以下非表示

会計名	予算額	支出済額	差引額
一般会計	230億1024万	222億7462万	7億3562万
国民健康保険	72億7370万	70億4600万	2億2770万
後期高齢者	5億8754万	5億4672万	4082万
介護保険	30億7707万	27億7544万	3億0163万
和光市駅北口	1億3826万	1億3162万	664万

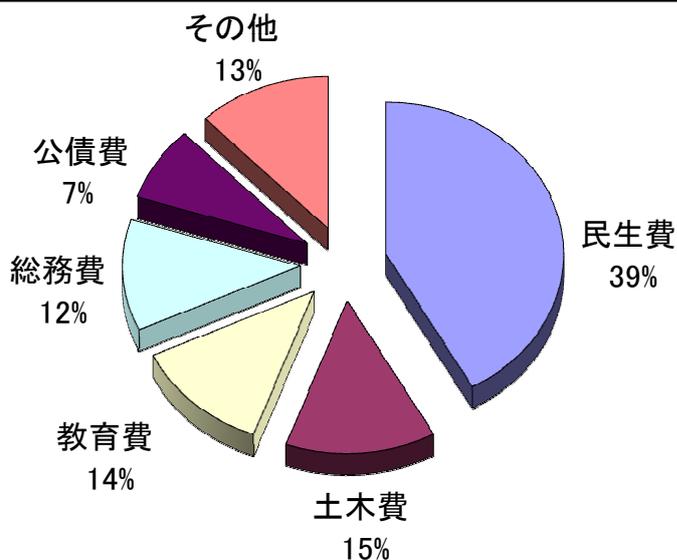
一般会計前年度決算との比較(単位：円)※千円以下非表示

	平成24年度	平成25年度	増減額
①歳入	235億3436万	235億4780万	1343万
②歳出	221億8171万	222億7462万	9291万
③差引額(①-②)	13億5265万	12億7318万	△7947万
④翌年度繰越額	2億7678万	2億0091万	6795万
実質収支(③-④)	12億1968万	10億7225万	△1億4742万

平成25年度一般会計決算【歳入】の内訳



平成25年度一般会計決算【歳出】の内訳



平成25年度一般会計決算【歳出】の主なもの

民生費

- 乳幼児・こども医療費助成
2億9,956万円
- 民間保育園運営
8億704万円
- 生活保護
14億1,868万円



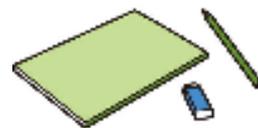
土木費

- アーバンアクア公園暫定整備
581万円
- 市内循環バス運行
5,155万円
- 道路補修
1億6,685万円



教育費

- 和光市市立小学校建設
3億8,971万円
- 図書館管理運営
5,612万円
- 保育クラブ管理運営
2億5,909万円



総務費

- 和光市納税サポートセンター
520万円
- 住民情報電算システム
8,708万円
- 広報活動推進
2,378万円



いはら陽輔の一般質問の要旨

高島平方面バス路線の誘致

問：和光市駅北口土地区画整理事業が進行中であるが、近隣の板橋区高島平地区においても高島平駅周辺の約314haが再整備される予定である。今後発展が期待できる二つの地区を結ぶバス路線が導入されれば相乗的な発展が期待できる。将来を見据えて高島平方面バス路線の誘致交渉を行ってほしい。

答：平成23年5月に複数のバス業者に要望したが、いずれも駅前にバス発着所のスペース確保、採算性等の課題があるという回答を受けており、現在も状況に変化がないため実現に至っていない。

今後、和光市駅北口土地区画整理事業による北口駅前広場の整備状況や高島平地域の再整備状況など、状況の変化に合わせ適宜要望をしていく。

埼玉県「バスまちスポット」

問：「バスまちスポット」とはバス停近くでバスを待つ間に気軽に利用できる施設のことで、物販店、医療機関、公共施設等が待合スペースを提供するという埼玉県の事業である。バス利用の促進だけでなく新たなコミュニティ空間の形成という観点からも導入の効果はあると思うが市の見解を伺う。

答：「バスまちスポット」は埼玉県が平成25年6月からバス利用者に提供を始めた取り組みである。和光市としては市内循環バスのほか、市内を運行する路線バスの停留所近くにおいて「バスまちスポット」として提供できる適当な施設の有無等について調査していきたい。

公共施設の複合化

問：公共施設を有効活用するための方法の一つとして公共施設の複合化がある。下新倉地区に新設される小学校は図書館、児童センター、保育クラブを併設するこから、まさに公共施設の複合化の典型例である。既存の公共施設についても複合化を検討すべきと考えるがいかがか。

答：市有施設の複合化については、すでに総合福祉会館、本町地域センター、新倉児童館、みなみ保育園、しらこ保育園などで行われている。既存施設の複合化については、施設の現状や住民ニーズなどを十分に把握した上で、今後作成する予定の公共施設白書として取りまとめた後、市民とともに検討していきたい。

女性幹部職員の育成

問：過去の一般質問で課長補佐以上の女性職員の割合は約14%という答弁があった。研修の実施等、努力していると思うが残念ながら実を結んでいない。この原因をどのように分析しているのか。また現在の課長補佐以上の女性職員の割合も併せて伺う。

答：平成26年4月1日現在、職員全体における女性職員の割合は42.2%、課長補佐級以上は15.6%、課長級以上は6.5%である。管理職員に女性が少ない原因は管理職員となる年齢層の女性職員の割合が低い状況であることが考えられる。女性職員のキャリアアップに対する意識啓発を図っていきたい。

少子化問題

問：今後当市では妊娠・出産・子育てと切れ目のない支援を行っていくことになるが、出生率の向上という点ではそれ以前の結婚の件数を増やさなければならない。和光市として結婚支援についてはどのように考えているか。

答：出生率向上には結婚・妊娠・出産・子育てそれぞれの場面で手厚い支援を行うことが将来にわたって必要な施策であると認識している。当市でも様々な団体が主催する婚活支援イベントもかなり実施されてきている。市が事業として今後実施することは事業の優先度の関係から難しいと思われるが、公共的団体等が実施する場合は、まちづくり、産業振興の観点から支援していきたいとは考えている。

問：少子化に歯止めをかけるには若い女性が安心して暮らせる環境づくりをしなければならない。一連の子育て支援だけでなく、就労支援や生活支援など、その人にあったきめ細かなサポートが必要と考えるがいかがか。

答：勤労青少年ホームでは勤労する青年を中心としたサークル活動、また趣味・教養講座のほか就職相談や就労支援、講座、キャリアカウンセラーによる就職に関するサポート等各種事業を実施している。また市役所6階のふるさとハローワークでは、専門の相談員による職業相談、職業紹介が受けられる態勢がすでに整っている。

※一般質問の詳細につきましては市議会会議録をご覧ください。

infomation

12月定例会の開催予定

12月 4日(木)	開会、提案説明
12月10日(水)	議案に対する質疑
12月11日(木)	総務環境常任委員会
12月12日(金)	文教厚生常任委員会
12月15日(月)	市政に対する一般質問
12月16日(火)	市政に対する一般質問
12月17日(水)	市政に対する一般質問
12月18日(木)	市政に対する一般質問
12月22日(月)	委員長報告、討論、採決、閉会

※正式な日程は12月2日(火)の議会運営委員会で決定します。

公式ウェブサイトをご覧ください
<http://iharayosuke.com/>



いはら陽輔

検索

発行：和光市議会議員 いはら 陽輔

〒351-0112 和光市丸山台1-1-10-402

TEL/FAX ▶048-201-0791

E-mail ▶iharaya.yosuke@gmail.com

Twitter ▶@iharayosuke